

2008年9月18日

日本銀行

短期金融市場における調達圧力の高まりへの協調対応策

本日、カナダ銀行、イングランド銀行、欧州中央銀行、米国連邦準備制度、日本銀行およびスイス国民銀行は、米ドル短期金融市場における資金調達圧力の持続的な高まりに対処するための協調策を公表した。これらの措置は、各国中央銀行が過去数日間に行った措置とあいまって、国際金融資本市場の流動性の状況の改善に資することを目的としている。中央銀行は、引き続き緊密に協力し、現在の資金調達圧力に対処するため、適切な措置を講じていく。

日本銀行の措置

日本銀行は、本日、臨時金融政策決定会合を開催し、米国連邦準備制度と協力して、わが国における金融市場参加者への米ドル資金供給を行うため、米国連邦準備制度との総額600億ドルの米ドル・スワップ取極の締結を承認するとともに、これを原資とした米ドル資金供給オペレーションの導入を決定した。日本銀行は、今後、市場の状況に応じて、適切にドル資金の供給を行う方針である。

日本銀行としては、今後とも、適切な金融市場調節の実施を通じて、金融市場の安定確保に努めていく方針である。

各国中央銀行の措置

各国中央銀行の措置については、下記ウェブサイト参照。

カナダ銀行	http://www.bankofcanada.ca
イングランド銀行	http://www.bankofengland.co.uk
欧州中央銀行	http://www.ecb.int
米国連邦準備制度	http://www.federalreserve.gov
スイス国民銀行	http://www.snb.ch

以 上